

平成 30 年度夏季調査計画（大雪山国立公園表大雪地域）

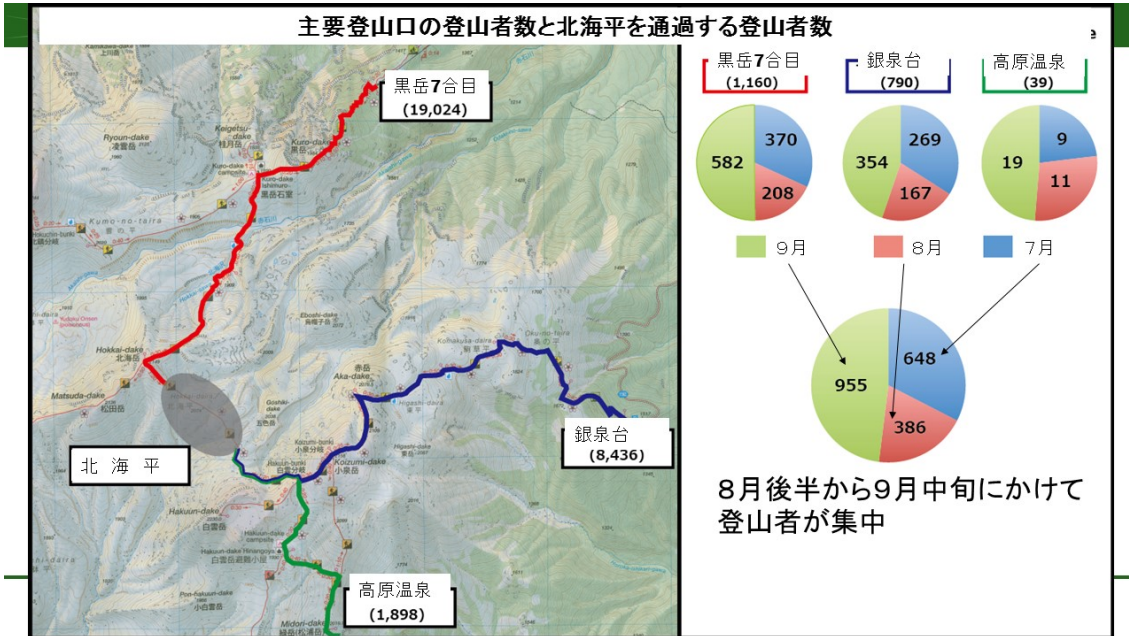
北海道大学大学院地球環境科学研究院

平成 30 年度には、本研究室では以下の調査を計画しております

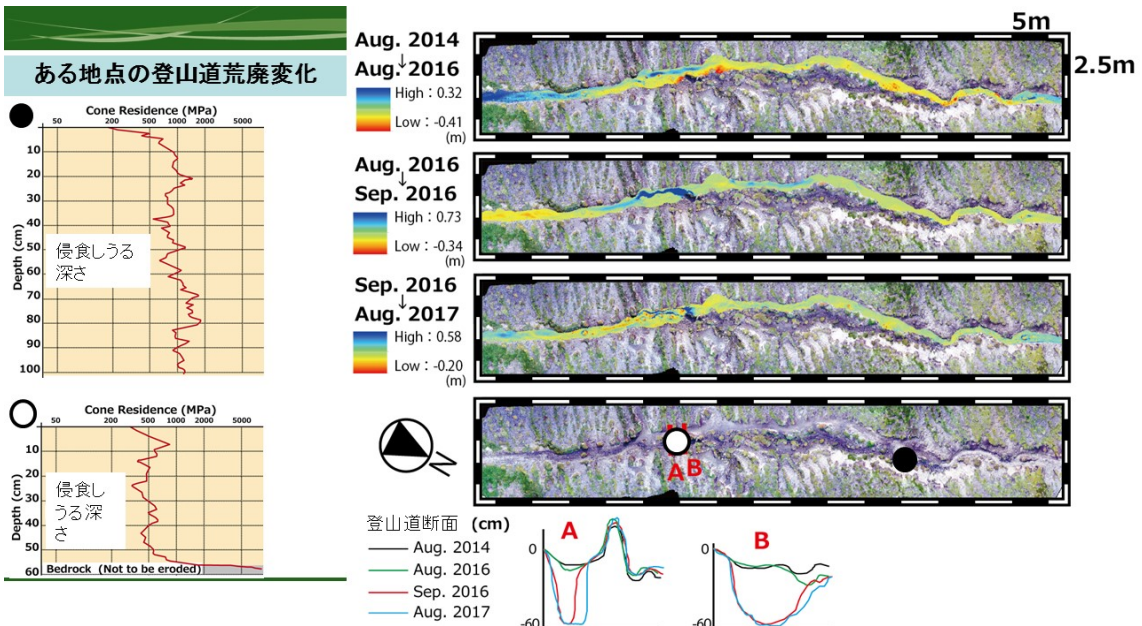
1. 現・黒岳野営指定地の測量（調査学生：王婷・小林勇介）
ドローンまたは長尺を用いた画像撮影，測量機材を用いた座標取得（7月中旬～8月後半にかけて数回程度）
2. 旧黒岳野営指定地の測量（調査学生：渡辺悌二・王婷・小林勇介）
ドローンまたは長尺を用いた画像撮影，測量機材を用いた座標取得（9月に1回）
3. 黒岳野営指定地利用者への聞き取り調査（調査学生：王婷・小林勇介）
利用者へのアンケート調査（昨年度からの継続）（7月中旬～9月中旬にかけて数回程度）
4. 北海平での登山道荒廃のモニタリング調査（調査学生：小林勇介）
長尺を用いた画像撮影，測量機材を用いた座標取得（7月中旬～8月前半にかけて数回程度）
5. 雲ノ平登山道補修箇所の変化に関する調査（調査学生：小林勇介）
長尺を用いた画像撮影，測量機材を用いた座標取得（7月中旬～8月前半にかけて数回程度）

以下，平成 29 度の調査結果の概要です（外部には出さないようにお願いいたします）。

1. 林野庁北海道森林管理局上川中部森林管理署のご協力を得て，平成 28 年度シーズンに北海平を通過した登山者数データを入手し，登山道侵食との関係について調査しました。北海平のある地点の登山道では，平成 28 年 8 月の大雨で 60 cm の下方侵食が見られました。その結果，平成 29 年 8 月中旬ころ，地中からの湧水（永久凍土の活動層の融解）が見られました。下の図の断面 A からわかるように，平成 28 年 8 月の大雨発生日から平成 29 年 8 月にかけては，更なる下方侵食は見られませんでした，湧水による側方侵食が一部で発生していました。なお，断面 A・B の地点では，PANDA2 を用いた侵食予測調査の結果（下の図左側），さらなる下方侵食は起きないものと考えられます。



平成 28 年度シーズンにおける登山者数（入林簿提供：林野庁北海道森林管理局上川中部森林管理署）



2. りんゆう観光（黒岳石室）のご協力を得て、黒岳野営指定地・石室の利用者数データを取得しました（調査学生：王婷ほか）。平成 29 年の登山シーズンには、余剰して位置からテントがあふれて石室前や登山道にテントが張られた日が少なくとも 5 日間ありました。過去の黒岳野営指定地利用者数データと比較すると、毎年、幕営数が多い月日がほぼ同じ（同じ月の同じ週末など）であることがわかり、これらの月日にもテントがあふれていたものと推察できます。なお、上川町の竹村さんと佐藤さんが収集したデータによると、2008 年以降、黒岳野営指定地の利用者数

は、かなりの速度で増加しています。

黒岳野営指定地・石室利用状況（2017年）

日付	6月			7月			8月			9月		
	石室		テント場	石室		テント場	石室		テント場	石室		テント場
	人数 (人)	人数 (人)	テント数 (張り)	人数 (人)	人数 (人)	テント数 (張り)	人数 (人)	人数 (人)	テント数 (張り)	人数 (人)	人数 (人)	テント数 (張り)
1日				5	1	1	8	10	6	5	6	5
2日				3			6	10	7	15	8	6
3日				9	9	6	16	10	6	8	2	2
4日				9	1	1	7	16	9	7	8	2
5日				23	4	3	33	46	32	8	14	9
6日				13	4	3	14	5	4	6	16	11
7日				14	6	5	19	24	11	7	2	2
8日				43	23	16	11	8	6	1		
9日				7	2	2	7			23	22	14
10日					4	1	7	14	8	14	5	3
11日				17	7	3	12	27	20	7	10	6
12日				6	8	6	13	21	13	6		
13日				25	19	13	13	22	12	9	5	3
14日				45	27	19	14	13	9	4	3	2
15日				79	73	43	10	39	18	17	13	10
16日				14	4	3	17	27	15	55	60	46
17日				16			6	14	9	2	0	
18日				42	4	2	15	27	16	2	0	
19日				28	17	10	47	46	33	2	0	
20日				19	3	2	15	23	11	8	4	3
21日				11	3	4	8	27	13	3	3	3
22日				14	13	9	1	20	5	17	5	3
23日				12	14	7	1			9	26	11
24日	7			25	3	2	12	1	1	12	4	3
25日	2			15	17	10	8	5	5	7	2	2
26日	8	1	1	17	19	13	12	8	6	2	1	1
27日	3	1	1	28	10	6	3	8	5			
28日	6	2	2	27	16	8	9	3	2			
29日		1	1	38	80	45	5	7	5			
30日	6	1	1	8	4	4	4	15	9	4		
31日				3			4	8	5			
利用者 数合計	32	6	6	615	395	247	357	504	301	260	219	147

3. 黒岳野営指定地利用者（136人）へ聞き取り調査を実施しました（調査学生：王婷・小林勇介）。このうち、野営指定地の広さに関する質問に対しては、「狭すぎる」と回答した人が38%であったのに対して、「ちょうど良い」が62%でした。テントがオーバーフローしたのは年間5日間に過ぎませんが、通常でも3分の1以上の利用者が「狭い」と感じているようです。



現在の黒岳野営指定地の面積に関する利用者の回答

(136人のうち、38%が「狭い」と回答し、62%が「ちょうど良い」と回答した)

また、最近では、単独あるいは2人でテント一張を使用する宿泊者が多い傾向が認められ、宿泊者数当たりの野営指定地の面積は、かつてよりもさらに広い面積が求められるようになっていると考えられます。こうしたことから、混雑日にオーバーフローするテントが増えているものと思われます。



黒岳野営指定地のテント一張当たりの宿泊者数

(28%が「単独」、54%が「2人」、12%が「3人」、6%が「4人以上」)